

宇部興産グループ チャリティーコンサートとは?

オリジナル・手づくりの総合プログラム

音楽を通じて地域文化の振興に貢献することを目的に、2008年からチャリティーコンサートを開催しています。多くの宇部市民の方々にいろいろな角度から音楽に触れていただけるよう趣向を凝らした、オリジナル・手づくりの総合プログラムです。単にオーケストラ公演を招聘するのではなく、宇部興産、日本フィルハーモニー交響楽団(日本フィル)、そして宇部市教育委員会のスタッフが共同でプログラム作りから運営まで行っています。

宇部市民との交流プログラム

チャリティーコンサートにあわせ、宇部市民との交流プログラム「ふれあいコンサート」と公益財団法人渡辺翁記念文化協会主催の「地域ふれあいコンサート」を行っています。

ふれあいコンサート (主催 宇部興産グループ)

病院で療養されている皆様や、地域の方を対象に、医療法人社団 宇部興産中央病院と山口大学医学部附属病院にて、日本フィルメンバーによる「ミニ演奏会」を開催しています。

地域ふれあいコンサート (主催 公益財団法人 渡辺翁記念文化協会)

市内の体験学習施設や中学校をお借りして、市内の中学校吹奏楽部の生徒が集まり、担当楽器ごとに日本フィルによる「音楽クリニック(指導)」を行います。クリニック終了後は地域の方を交えた「ミニ演奏会」と、日本フィルと中学校吹奏楽部による「合同演奏会」を実施しています。(2016年は黒石中学校にて開催)

ゲネプロ公開 (主催 宇部興産グループ)

(注:ゲネプロとは、Generalprobe(ドイツ語)の略称。本公演前の、総リハーサル)

チャリティーコンサート当日の午前中に、宇部市内の小中学生等を対象に約550名をゲネプロに招待しています。ゲネプロは公演本番との同一の条件で、音響の確認や最終調整を行う大切な「最終リハーサル」の場です。通常は非公開ですが、日本フィルのご協力により、子供達により身近に音楽に触れさせたいという私達の願いを実現することができました。

宇部興産グループ協賛企業

宇部興産機械(株)、宇部マテリアルズ(株)、(株)宇部情報システム、(株)UBEアセット&インシュアランス、宇部フィルム(株)、UMG ABS(株)、宇部MC過酸化水素(株)、明和化成(株)、(株)UBE科学分析センター、宇部興産海運(株)、宇部興産建材(株)、萩森興産(株)、(株)ティーユーエレクトロニクス、(株)宇部スチール、宇部興産コンサルタント(株)、宇部シー・アンド・エー(株)、宇部興産開発(株)、(株)ユービーイーホテルズ、宇部物流サービス(株)、ユーイーエル(株)、宇部興産セメントサービス(株)、宇部サンド工業(株)、サンヨー宇部(株)、山機運輸(株)、やま商事(株)、(株)宇部興産総合サービス



生中継 FM 10月16日(日) 14:00~15:45

特別番組 F M Y 10月30日(日) 19:00~19:55

このコンサートで使用する電力のすべてを、山口県産の太陽光のグリーン電力でまかっています。

市民と
ともに、
音楽と
ともに。

UBE Charity Concert 9th

第9回

宇部興産グループ チャリティーコンサート

2016.10.16(日) 宇部市渡辺翁記念会館
13:20開場 / 14:00開演 / 15:45終演予定

日本フィルハーモニー交響楽団
メンデルスゾーン 序曲「フィンガルの洞窟」作品26 /
ヴァイオリン協奏曲 ホ短調 作品64 / 交響曲第4番 イ長調 作品90「イタリア」

指揮者
大友 直人
Naoto Otomo

Japan Philharmonic Orchestra

ヴァイオリン
南 紫音
Shion Minami

【主催】宇部興産株式会社 【共催】(公財)渡辺翁記念文化協会、宇部好楽協会 【協力】パイオニア株式会社
【後援】宇部市、宇部市教育委員会、朝日新聞社、毎日新聞社、読売新聞西部本社、日本経済新聞社山口支局、産経新聞社、
中国新聞防長本社、山口新聞社、宇部日報社、KRY山口放送、tysテレビ山口、yab山口朝日放送、エフエム山口、エフエムきらら

【第9回】
宇部興産グループ
チャリティーコンサート

メンデルスゾーン
Program

14:00開演

序曲「フィンガルの洞窟」
作品26(約10分)

ヴァイオリン協奏曲
ホ短調 作品64(約28分)

休憩(20分)

交響曲第4番イ長調
作品90「イタリア」(約32分)

15:45終演(予定)



ごあいさつ



山本 謙 宇部興産株式会社 代表取締役社長

本日はご来場頂きまして誠に有難うございます。また、平素より宇部興産グループにご支援を賜り、厚く御礼申し上げます。

本チャリティーコンサートは、2008年より、弊社創業の地であるここ宇部市における地域の皆様への感謝の形として開催しております。第2回目からの「作曲家シリーズ」として、今回はロマン派の作曲家メンデルスゾーンの楽曲を、指揮者に大友直人さん、ソリストに南紫音さんをお招きしお届け致します。

コンサートの入場料収入については、従来より地域の音楽文化向上のため宇部市内の音楽関係諸団体へ全額を寄付させて頂いておりますが、本年はこれに加えて「平成28年熊本地震」で被災された地域の方々への、皆様からの復興支援金としても寄付させて頂きます。

なお、本コンサートの前日には、「ふれあいコンサート(於:(医)宇部興産中央病院、山口大学医学部付属病院)」と、(公財)渡辺翁記念文化協会による「地域ふれあいコンサート(於:黒石中学校)」を開催しています。来年もこれらコンサートを行う予定です。

それでは、日本フィルがお届けする、渡辺翁記念会館ならではの温かく美しい調べを心ゆくまでお楽しみください。



大友 直人【指揮者】 *Naoto Otomo Conductor*

桐朋学園大学を卒業。指揮を小澤征爾、秋山和慶、尾高忠明、岡部守弘各氏に師事した。桐朋学園大学在学中からNHK交響楽団の指揮研究員となり、22歳で楽団推薦によりNHK交響楽団を指揮してデビュー。現在、群馬交響楽団音楽監督、東京交響楽団名誉客演指揮者、京都市交響楽団桂冠指揮者、琉球交響楽団ミュージックアドバイザー。また、2004年から8年間にわたり、東京文化会館の初代音楽監督を務めた。在京オーケストラの定期演奏会にとどまらず、2012年3月にはハワイ交響楽団のオープニングコンサートを指揮、以降定期的に客演し、同年6月にはロレーヌ国立管弦楽団の定期公演に客演、絶賛を博す。2013年にはエネスク国際音楽祭に招かれ「弦楽八重奏op.7」を演奏。“繰り返し演奏されているが、今回の演奏は最高の演奏”“日本のオーケストラ演奏が西洋音楽への新しい希望を見出した”と評され、欧米での活躍にも大きな期待が寄せられている。第8回渡辺暁雄音楽基金音楽賞(2000年)、第7回齋藤秀雄メモリアル基金賞(2008年)を受賞。



南 紫音【ヴァイオリン】 *Minami Shion Violin*

2005年ロン＝ティボー国際音楽コンクールにおいて第2位を受賞し、一躍国際的注目を集めた若手実力派。2004年アルベルト・クルチ国際ヴァイオリン・コンクールで優勝。同年10月、ロン＝ティボー国際音楽コンクール第2位を受賞すると共に「サセム賞」受賞。2015年には、難関で知られるハノーファー国際ヴァイオリン・コンクールで、第2位を受賞した。すでに国内主要オーケストラはもとより、フランス国立管弦楽団、リール国立管弦楽団、サンカルロ歌劇場管弦楽団、ビルバオ交響楽団などとも共演を重ねている。2008年にはユニバーサルミュージックよりCDデビュー。2014年6月に3枚目となる最新盤「ファンタジー」をリリース。これまでに篠崎永育、篠崎美樹、西和田ゆう、原田幸一郎の各氏に師事。現在、ドイツのハノーファーに在任し、クシトフ・ヴェグジンに師事。2005年北九州市市民文化奨励賞、2006年福岡県文化賞受賞。2010年第11回ホテルオークラ賞受賞。2011年第21回出光音楽賞受賞。使用楽器は、(公財)サントリー芸術財団より貸与された1727年製ストラディヴァリウスである。



フェリックス・メンデルスゾーン
Felix Mendelssohn, [1809~1847]

19世紀初期に最も成功し、かつ崇拜された音楽家の一人。偉大な作曲家であるショパン(1810~1849)、シューマン(1810~1856)、リスト(1811~1886)らと並ぶロマン派の中心となる作曲家、指揮者。ドイツ西北部に位置する工業都市ハンブルクに、裕福な銀行家の子として生まれる。カントにも影響を残した有名なドイツ人哲学者であった祖父モーゼス・メンデルスゾーンの時代に一家は銀行を創設。銀行は父に引き継がれた。銀行家の父は自宅のサロンに画家、音楽家、科学者などを頻繁に招いていた。その影響もあり、9歳にしてピアノ協奏曲を公開演奏し、15歳の時には交響曲を作曲していたという、正に神童として幼少期から優れた音楽の才能を示していた。バッハ音楽の復興、ライプツィヒ音楽院の設立など19世紀の音楽界に極めて大きな影響を与えた。また作曲家としても、ヴァイオリン協奏曲や「夏の夜の夢」、「フィンガルの洞窟」、無言歌集など今日でも広く知られている楽曲を生み出した。1847年38歳の若さで逝去。

聴きどころ解説

序曲 「フィンガルの洞窟」 作品26

1829年4月、初めてイギリスを訪れた20歳のフェリックス・メンデルスゾーン(1809-1847)は、ロンドンのフィルハーモニー協会で開催を催し、8月にはスコットランドに観光旅行をしている。ここで彼はヘブリディーズ群島のスタッファ島にある「フィンガルの洞窟」とその付近の景観に強い印象を受けた。この洞窟はケルト民族の伝承に登場するフィンガル王にちなんで命名されており、そうした神秘的な伝説もまた、メンデルスゾーンの靈感をかきたてたのであった。旅行中にスケッチされたこの作品は翌年ローマ滞在中に演奏会用序曲として完成され、1832年の2度目のイギリス旅行の際に作曲者の指揮によりロンドンにおいて初演された。

絵筆を持って風景絵画に堪能だったメンデルスゾーンの描写力は音楽の世界でも充分発揮されており、音のカンヴァスに広がる千変万化の海とみずみずしい感性のきらめきが「第一級の風景画家」(ワーグナー談)としての腕の確かさを伝えている。



聴きどころ解説

ヴァイオリン 協奏曲 ホ短調 作品64

メンデルスゾーンは2曲のヴァイオリン協奏曲を書いている。1951年になって発見された二短調の協奏曲はまだまだ一般的になっていないと言えないが、本日演奏されるもう一曲の「ホ短調」作品は、ヴァイオリン協奏曲の代名詞として呼ばれるほどに広く親しまれている。この有名な作品が最初に着想されたのは1838年のことで、この頃メンデルスゾーンはライプツィヒのゲヴァントハウス管の常任指揮者の地位にあり、このオーケストラのコンサートマスターを務めていた名ヴァイオリニストのフェルディナンド・ダヴィットに「来年の冬までには「ホ短調」の協奏曲をあなたに贈りたい」と語っていた。しかし予定は大幅に遅れ、全曲が完成したのは6年後の1844年9月16日のことであった。多忙な仕事の間に作曲が進められ、時にはダヴィットにヴァイオリンの演奏技巧上のアドバイスを受けながら作曲されたのである。

【第一楽章】アレグロ・モルト・アパッショナート、ホ短調、2分の2拍子、ソナタ形式。

【第二楽章】アンダンテ、ハ長調、8分の6拍子、三部形式。

【第三楽章】アレグレット・ノン・トロッポ、ホ短調~アレグロ・モルト・ヴィヴァーチェ、ホ長調、4分の4拍子、ソナタ形式。



聴きどころ解説

交響曲第4番 イ長調 作品90 「イタリア」

1829年から32年にかけてイギリス、イタリア、スイス、フランスのヨーロッパ各地を旅行していたメンデルスゾーンは、1830年11月にローマの地を訪れた。翌1831年4月までの滞在期間の間、彼は謝肉祭(カーニバル)の華やかさに活気づくローマ市民の姿や、ローマ教皇グレゴリオ16世の即位式典を目の当たりにし、また当時ローマ留学中のベルリオーズとの交流など、さまざまな得がたい体験を得た。イタリア人の底抜けに明るい気質とカトリックの荘厳な儀式に見せるローマ市民の敬虔な心に深い感銘を受けたメンデルスゾーンは、滞在中の1831年にこの交響曲に着手した。その後ロンドン・フィルハーモニック協会からの作曲依頼に応える形で1833年3月に完成、その年の5月13日にロンドン・フィルハーモニック協会の演奏会で作曲者自身の指揮により初演された。なおこの《イタリア》交響曲は第4番とされているが、実質的には第3番《スコットランド》に先立って完成された作品である。

【第一楽章】アレグロ・ヴィヴァーチェ、イ長調。北国育ちのメンデルスゾーンが、緑と陽光に満ちたイタリアの自然に触れた時の感動を率直に表現したかのような第1主題、クラリネットとファゴットで歌われる抒情的な第2主題から成るソナタ形式。

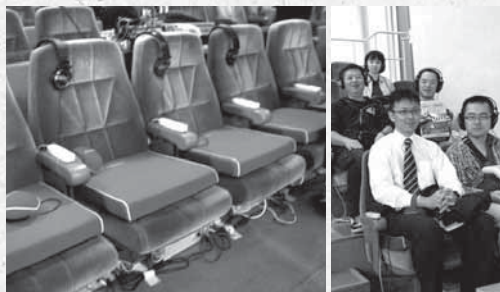
【第二楽章】アンダンテ・コン・モート、二短調。作曲家がナポリで見た宗教行事の印象から着想されたといわれる荘厳な行進曲。

【第三楽章】コン・モート・モデラート、イ長調。シンプルな美しさの主題をもつメヌエット。

【第四楽章】「サルタレッロ」プレスト、イ短調。メンデルスゾーンがローマ滞在時に触れた民族舞踊サルタレッロのリズムによる主題で、謝肉祭に沸き立つ群衆の活気が表現されている。

音楽を体で感じる「体感音響システム」の席をご用意

宇部興産グループチャリティーコンサートでは、パイオニア(株)様のご協力により、振動で音楽を体感できる「体感音響システム*」の機材を一部の座席に設置し、(有)リベルタス興産が宇部市内の聴覚障がい者の方をご招待しています。パイオニア(株)様は1992年より、本システムを使った定期コンサート「身体で聴こう音楽会」を社員のボランティアにより運営されています。その一環として、本チャリティーコンサートにもご協力、機材の搬出やセッティング、当日のオペレーションなどを行っています。



*体感音響システム:ロケット工学で有名な、糸川英夫博士(故人)が、「音楽は耳と骨で聴いている」と提言。この考えから開発されたのが体感音響システムです。振動装置が組み込まれたボートとサブクッションで構成され、振動を身体に伝えます。これにより、ヘッドフォンや磁気ループからの音と一緒に全身で音楽を楽しむ事ができます。

宇部興産グループチャリティーコンサートの歩み

2008年にファミリーコンサートとして始めた「宇部興産グループチャリティーコンサート」。これまでお届けしました楽曲、お招きしました指揮者やソリストの方々をご紹介します。

回数	第1回	第2回	第3回
開催年月日	2008年8月10日(日)	2009年10月4日(日)	2010年10月10日(日)
冠名	—	—	宇部市制施行90周年記念プレイベント
指揮者	渡邊 一正	大友 直人	飯森 範親
共演者	江原 陽子(司会、歌)	—	—
コンセプト	ファミリーコンサート	作曲家シリーズ ~ ベートーヴェン	作曲家シリーズ ~ チャイコフスキー
演奏曲目	ドヴォルザーク 交響曲第9番「新世界より」 グリンカ 歌劇「ルスランとリジドミラ」序曲 ブラームス ハンガリー舞曲 第1番、第6番、第5番 スメタナ 交響詩「わが祖国」よりモルダウ	「エグモント」序曲 交響曲第6番「田園」第1楽章 交響曲第7番	バレエ組曲「くるみ割り人形」 交響曲第4番
回数	第4回	第5回	第6回
開催年月日	2011年9月19日(日)	2012年10月7日(日)	2013年10月13日(日)
冠名	宇部市制施行90周年記念 “VIVA! クラシック”	渡辺翁記念会館 開館75周年記念 “VIVA! クラシック”	“VIVA! クラシック”
指揮者	小林 研一郎	三ツ橋 敬子	藤岡 幸夫
共演者	—	小山 実穂恵(ピアノ)	渡辺 玲子(ヴァイオリン)
コンセプト	ダブルシンフォニー(ベートーヴェン&チャイコフスキー)	作曲家シリーズ ~ モーツァルト	作曲家シリーズ ~ ブラームス
演奏曲目	【ベートーヴェン】 交響曲第5番「短調」運命」作品67 【チャイコフスキー】交響曲第5番	オペラ「フィガロの結婚」序曲 ピアノ協奏曲 第27番 交響曲 第41番「ジュピター」	ヴァイオリン協奏曲 交響曲第1番
回数	第7回	第8回	第9回
開催年月日	2014年10月12日(日)	2015年10月10日(土)	2016年10月16日(日)
冠名	“VIVA!クラシック”	第26回UBEビエンナーレ× まちじゅうアートフェスタ2015	—
指揮者	梅田 俊明	飯森 範親	大友 直人
共演者	長谷川 陽子(チェロ)	尾池 亜美(ヴァイオリン)	南 葉音(ヴァイオリン)
コンセプト	作曲家シリーズ ~ ドヴォルザーク	作曲家シリーズ ~ ベートーヴェン	作曲家シリーズ ~ メンデルスゾーン
演奏曲目	チェロ協奏曲 交響曲第9番「新世界より」	ヴァイオリン協奏曲 交響曲第3番「英雄」	序曲「フィンガルの洞窟」 ヴァイオリン協奏曲 交響曲第4番「イタリア」

日本フィルハーモニー交響楽団

Japan Philharmonic Orchestra

1956年6月創立、渡邊暁雄が初代常任指揮者を務める。当初より幅広いレパートリーと斬新な演奏スタイルで、ドイツ・オーストリア系を中心としていた当時の楽壇に新風を吹き込み、大きなセンセーションを巻き起こした。

この歴史と伝統を守りつつ、さらなる発展を目指し「オーケストラ・コンサート」、「エデュケーション・プログラム」、「リージョナル・アクティビティ」という三つの柱で活動を行っている。2016年9月から桂冠指揮者兼芸術顧問としてアレクサンドル・ラザレフ、首席指揮者ピエタリ・インキネン、桂冠名誉指揮者小林研一郎、正指揮者山田和樹、ミュージック・パートナー西本智実という充実した指揮者陣を中心に、「音楽を通して文化を発信」している。2011年4月より「被災地に音楽を」を開始、5月末までに189公演を実施している。オフィシャルウェブサイト <http://www.japanphil.or.jp>



メンコンの聴き所

本来序奏はこれから始まる交響曲への期待を高める部分。主に伴奏を担うオーケストラが期待を高め、その後いよいよ主役となる独奏者が演奏し始める。序奏に時間を設け、満を持して主役登場となる場合が多い中、メンデルスゾーンの序奏、序奏の時間が圧倒的に短いという点。例えばベートーヴェンのヴァイオリン協奏曲の場合、大凡3分30秒程度序奏があってから、独奏ヴァイオリンが登場します。今回演奏するメンデルスゾーンのヴァイオリン協奏曲は僅か2秒、冒頭から二小節目で独奏ヴァイオリンが活躍するところが大きな特徴です。

また、協奏曲の中に登場する“カデンツァ”【オーケストラが演奏を止めて、独奏者が技巧や表現を自由に即興演奏できる部分】についてもメンデルスゾーン自身が作曲していたことや、第一楽章の独奏ヴァイオリンは高音の響きの連続で始まるため、高い音を出すE線(客席側の弦)のみで演奏するところが、24小節目に亘り続くところも見どころ、聴きどころです。

Charity Concert Column
*メンデルスゾーンのヴァイオリン・コンチェルト(協奏曲)



どのような点が「チャリティー」なのでしょう?

チャリティーコンサートの入場料は、宇部市教育委員会(中学校への楽器寄贈)、宇部好楽協会、宇部市民オーケストラなどに、その全額を寄付させていただいています。日本フィルの招致費用(演奏・宿泊・楽器運搬費・交通・諸経費)や当日の会場利用料などの全てを、宇部興産グループが担っています。

寄付実績

宇部市教育委員会からの依頼に基づき、下記の中学校へ楽器を寄贈しました。

	第1回 (2008年)	第2回 (2009年)	第3回 (2010年)	第4回 (2011年)	第5回 (2012年)	第6回 (2013年)	第7回 (2014年)	第8回 (2015年)
東岐波中			トロンボーン	クラリネット	ソプラノサクソフォン		アルトサクソフォン	
西岐波中	トロンボーン	ホルン	ユーフォニウム		フルート		トロンボーン	
常盤中		フルート				テナーサクソフォン		クラリネット
上宇部中	クラリネット			アルトサクソフォン	トロンボーン		フルート	
神原中		ユーフォニウム	トロンボーン			テナーサクソフォン		
桃山中		ホルン		フルート			クラリネット	
藤山中				アルトサクソフォン	フルート	トロンボーン		どら、どらスタンド
厚南中	サクソフォン		サクソフォン	バスクラリネット	コントラバス			グロッケン
川上中	ホルン	ユーフォニウム	サクソフォン				バスクラリネット	
黒石中	サクソフォン					クラリネット		アルトサクソフォン
厚東中						ピッコロ		テナーサクソフォン